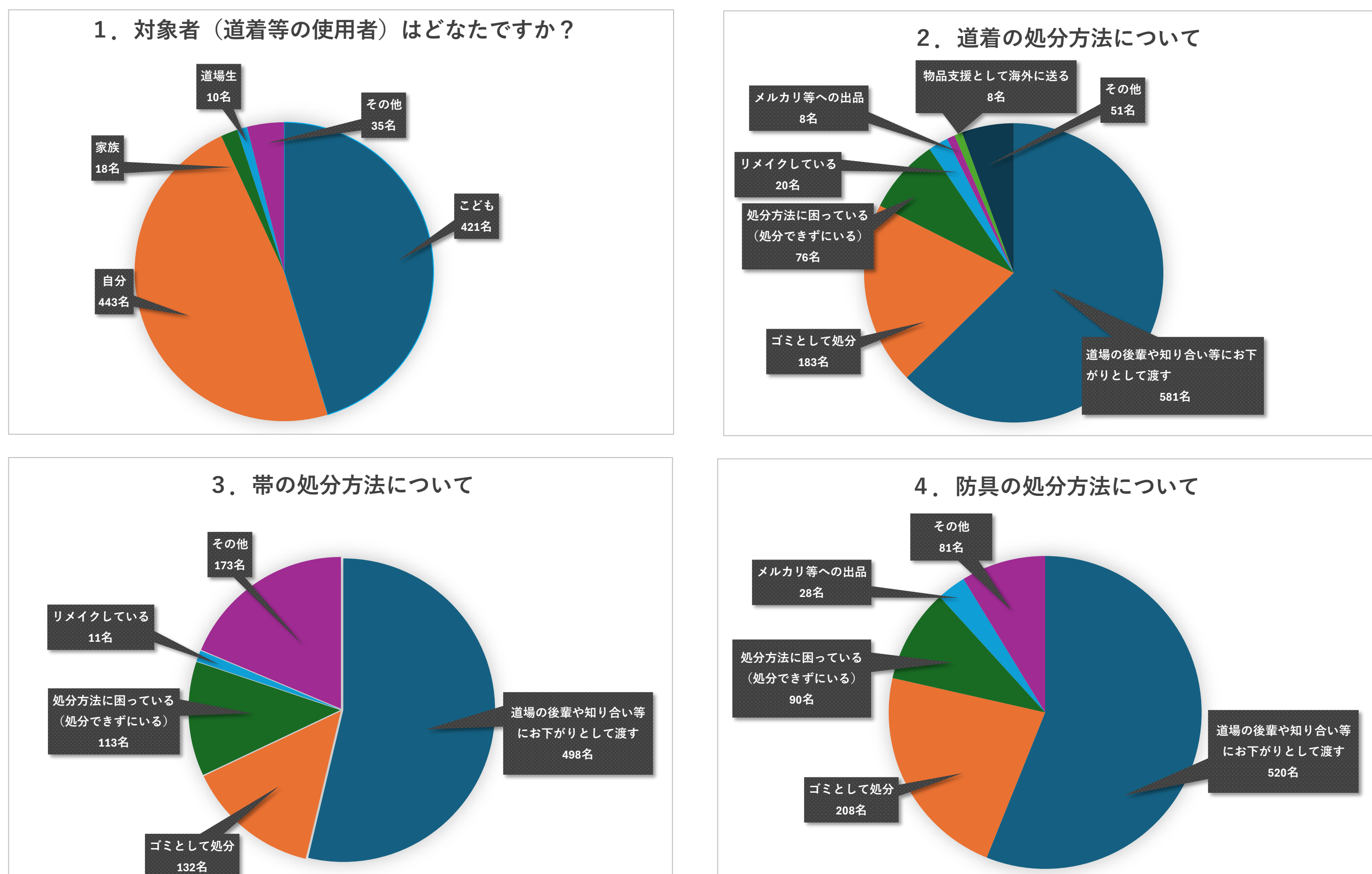


## 空手着と防具の処分方法について アンケート結果（927名回答）



### 5. 全日本空手道連盟会員が取り組む環境活動についてご提案があればお聞かせください。（n=特になしを除いて107）

アンケートの回答内容として、以下のような意見が見受けられます。

- ・防具の増加に対する懸念：「空手は身一つで行うものだが、防具や道着が増えてしまい、物が溢れかえっている」
- ・防具の仕様変更への反対：「長く使いたいので、試合で使用できる防具の仕様を変更しないでほしい」
- ・従来の防具を使える大会の開催希望：「昔のメンホーを使用できる大会や、小学生大会の表彰方法を工夫してほしい」
- ・防具規格の統一要望：「防具の規格を協会と統一してほしい」
- ・学年・大会ごとの防具規格の違いに対する不満：「無駄な防具が増え、空手の本質が損なわれる」

このように、多くの回答者が防具の仕様変更や規格のバラつきに対して懸念を抱いていることがわかります。さらに集計データを確認し、全体的な傾向を把握します。

アンケート結果の中で、具体的な回答が含まれているのは主に「新型防具や改良版は必要だが期間が短すぎるのでは？」の列であり、以下のような意見が含まれていました。

#### 【要約】

- 1. 防具の増加に対する懸念**
  - ・空手は本来「身一つ」で行うものだが、防具や道着が増えすぎている。
  - ・練習や試合で装備が多すぎて管理が大変。
- 2. 防具の仕様変更への反対**
  - ・長期間使用できるよう、試合で使える防具の仕様は頻繁に変えないでほしい。
- 3. 従来の防具を使える大会の開催希望**
  - ・以前のメンホー（防具）を使用できる大会を設けてほしい。
  - ・小学生大会の表彰方法を見直してほしい。
- 4. 防具規格の統一要望**
  - ・防具の規格を統一し、協会などと整合性を持たせるべき。
- 5. 学年や大会ごとの防具規格の違いに対する不満**
  - ・競技ごとに防具が異なるため、無駄な出費が増える。
  - ・空手の本質が損なわれる可能性がある。

全体として、「防具の変更頻度を抑え、統一性を持たせてほしい」「無駄な防具を増やさないでほしい」という意見が多数を占めているようです。

### 6. 全日本空手道連盟の環境活動についてご意見やご感想等があればお聞かせください。（n=特になしを除いて119）

#### 【要約】

- 1. 防具の形式変更の頻度が高すぎる**
  - ・メンホー（防具）の形式変更が頻繁で、旧式が使えなくなると後輩にも譲れず、ゴミとして処分せざるを得ない。
  - ・SDGsの考え方に反しており、業者との癒着による金儲けが疑われる。
- 2. 統一規格の必要性**
  - ・全少（全国少年大会）や全中（全国中学生大会）で防具の種類が異なり、買い替えが必要となる。
  - ・小学生が旧タイプの防具を大会で使用できるようにすれば、買い替え負担が軽減される。
- 3. 環境問題への影響**
  - ・全空連（全日本空手道連盟）の防具指定改正が頻繁で、大量のゴミが発生している。
  - ・規格変更がなければ、最後まで防具を使用できる。
- 4. 処分の課題**
  - ・防具の耐用年数が短く、譲渡も難しい。
  - ・汗をかくため、中古品の再利用が困難な場合もある。

このように、防具の規格変更による負担や環境への影響に対する不満の声が多く挙がっていることがわかります。

※5. 6. のアンケートは、AIで要約しております。